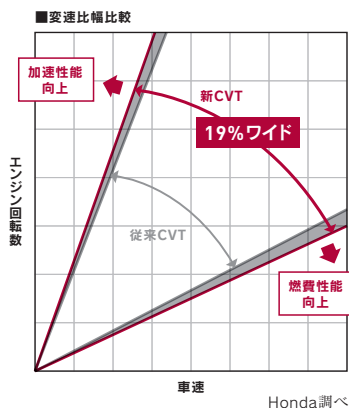


エンジンの性能を効率よく引き出す新開発CVTとさらなる低燃費化を図る技術

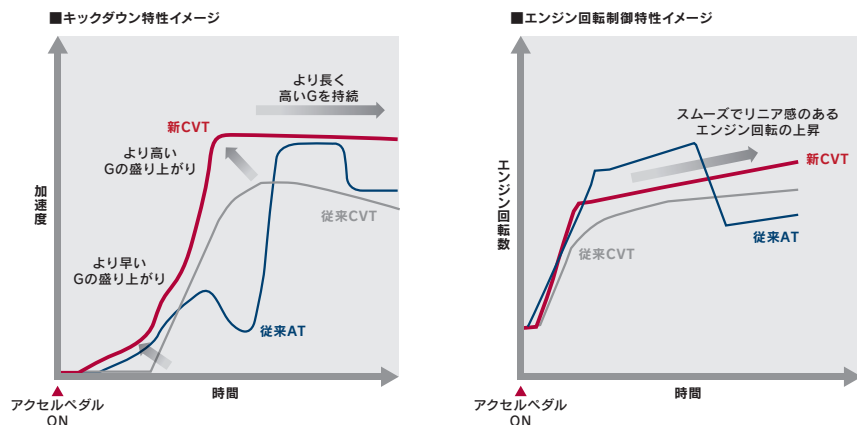
爽快な加速と低燃費を両立した新開発CVT

従来モデル(アブソルート)の5速AT以上にダイレクト感ある加速を生み出しながら燃費性能にも優れたCVTを開発しました。従来CVTに対して変速比幅を19%広げただけで、伝達効率の向上や機能集約による軽量化など高効率化を徹底し、加速性能と燃費性能をともに向上。さらに、アクセル操作に素早く応答するDBW協調制御「G-design Shift」を採用し、ドライバーの感覚にリニアな加速フィールを実現しました。アブソルートはマニュアル感覚の変速操作を楽しめる7スピードモード+パドルシフトも備えています。



■ハイレスポンスな走りを生み出す新協調制御「G-design Shift」

DBWによるスロットル制御と協調しながらプリー作動油圧を高精度に制御し、ドライバーのアクセル操作に対する変速レスポンスを向上。これにより、発進加速時やキックダウン時にタイムラグが少なく、従来5速AT以上のダイレクト感のある加速Gが得られるとともに、アクセル操作にリニアな伸びのある加速フィールを獲得しています。



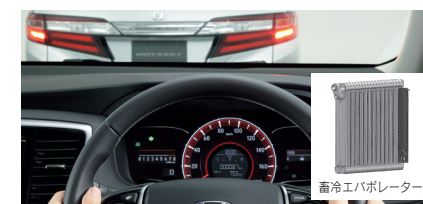
アイドリングストップシステムをはじめ先進の技術を採用

アイドリングストップシステムを採用したうえで、アイドリングストップ時間をより長く持続させる新技术を採用。さらなる燃費向上を図っています。



■蓄冷エバポレーター

エアコンシステムの熱交換器(エバポレーター)内に蓄冷材を封入。エアコン作動時に蓄冷材を冷やし(蓄冷)、アイドリングストップ中にも冷たい風を送ることで室温上昇を抑えて快適性を保ちます。これにより、室温上昇に伴うエンジン再始動時期を遅らせることでアイドリングストップ時間を延長。エアコン使用時に約10%の燃費向上効果を実現しています。



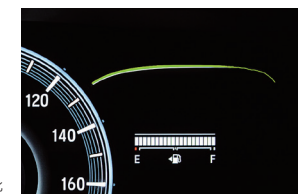
■UltraBattery [アブソルート/アブソルート・EX のみ]

バッテリー内部の負極版に活性炭素を塗布。充電受入性が高まりオルタネーターの負荷を減らせるとともに、放電時のロス低減によりアイドリングストップ時間延長に貢献します。

■エコアシスト (ECONモード、コーチング機能)

エンジン、CVT、エアコンを低燃費モードに切り替えるECONモードとメーター照明によるコーチング機能で、エコ運転を支援します。

■コーチング機能
低燃費な運転状態時にメーター内の照明がグリーンに変化



電子制御により緻密な制御を実現した、REAL TIME AWD <インテリジェント・コントロール・システム>

走行状況を検知し、後輪へ最適な駆動力を伝達。電子制御によって前後輪の駆動力配分をより緻密に行い、雪道などでの発進やコーナリング、登坂における安定性をいっそう高めています。また、駆動力制御に2つの油圧ポンプを用いていた従来システムに対し、ポンプを1つにするなど小型・軽量化を実現。さらに、クルーズ走行時(FF状態)には後輪駆動力を完全にカットして駆動ロスを低減したことで、低燃費にも貢献しています。